

平成12年度
白根市一般会計
予算の執行状況

白根市の

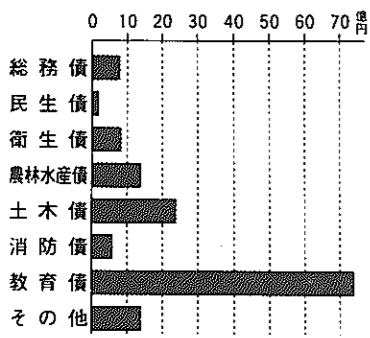
財政事情

平成12年12月現在

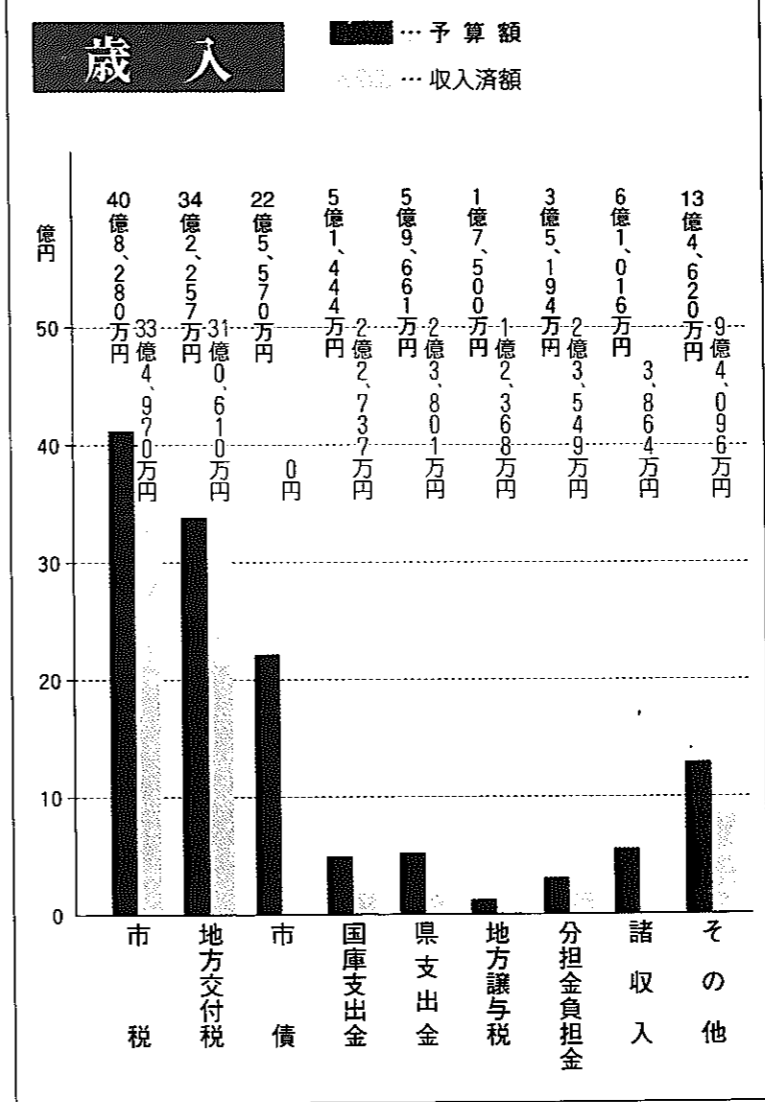
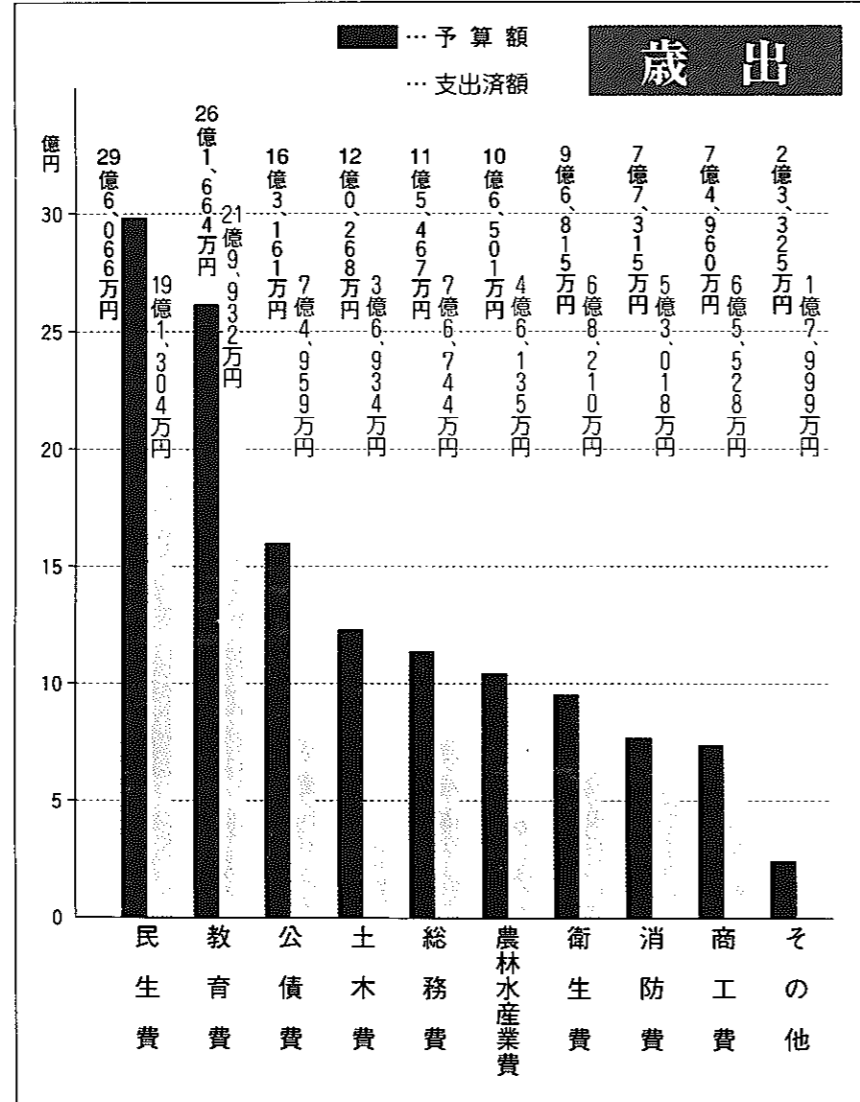
●平成12年度の主な建設事業

農村総合整備事業 (モデル事業)	2億 8,534万円
緊急水害対策事業	3億 1,050万円
消防施設整備事業	9,069万円
河川防災ステーション 整備事業	9,647万円
白南中学校新築事業	4億 4,180万円
白根学習館建設事業	10億 3,155万円

●市債現在高の状況



市債残高 (H12.12月末現在) 152億5,667万円
1人当たり市債残高 (H12.12月末現在) 37万3,270円



●市税の課税と収納状況

(H12.12月末現在)

区分	予算額 (万円)	課税額 (万円)	収納額 (万円)	収納率 (%)
市民税	137,051	141,484	105,576	74.6
固定資産税	230,739	245,868	199,701	81.2
軽自動車税	6,402	6,917	6,590	95.3
たばこ税	28,550	19,018	19,018	100.0
入湯税	15	14	14	100.0
都市計画税	5,523	5,633	4,071	72.3
合計	408,280	418,934	334,970	80.0

●市民の税負担

(H12.12月末現在 人口:40,873人、世帯:11,078世帯)

区分	1人当たり	1世帯当たり
市民税	26,331円	97,151円
固定資産税	57,533円	212,270円
軽自動車税		
たばこ税	7,611円	28,082円
入湯税		
都市計画税		
合計	91,475円	337,503円

※市民の税負担の金額は課税額です。ただし、市民税は法人税を、固定資産税では固有資産等所在市町村交付金および納付金を、それぞれ除いてあります。

非常に厳しい財政状況
市税の減収に加え、水害など突発的な事態への対応が必要となるなど、市の財政は非常に厳しい状況にあります。今後も、財政計画に沿った財政運営に努め、市民の健全化を目指して参りますので、市民の皆さんのより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

増え続ける市債残高
市債の現在高は、十二月末現在の見込みで百五十二億五千六百六十七万円。庄瀬小学校、白根北中学校等の学校建設事業、白根学習館建設事業の財源として借り入れた教育債が全体の二分の一を占めており、次に土木債、農林水産債となっています。

市税の予算額、3年連続減少
歳入予算については、財政運営の重要な財源となる市税で四十億八千二百八十万円(前年度比二億二千四百四十八万円、五・〇%減)を計上。恒久的減税、景気の低迷などにより、市税の予算額の推移は平成十年度から三年連続の減少となつています。市税の減収分については地方交付税の一部および地方特例交付金、減税補てん債によって補います。

緊急水害対策費に3億1,050万円
補正により追加した主要事業は、児童手当制度改正によって対象が義務教育就学前児童まで拡大されたことに伴う児童手当給付費等(五千五百六十二万円)、七月の集中豪雨による水防作業および被害調査、消毒作業に伴う経費と道路被害復旧工事費(二千五百四十四万円)、また、水害の被害の大きかった市街地の緊急水害対策工事費等(三億一千五百万円)、除雪に掛かる経費(七千七百八十五万円)などです。

歳入歳出予算の状況
平成十二年一般会計当初予算は、白根学習館建設事業や水田農業経営確立対策事業をはじめとする農業振興事業、商工業活性化事業、市民参加ミュージカル制作事業、白南中学校建設事業、介護保険を含む高齢者福祉の充実、知的障害者通所授産施設新設法定化事業、河川防災ステーション整備事業などを盛り込んだ結果、百二十五億八千九百万円(前年度対比四億八千九百万円、四・〇%増)と過去最高となりました。その後六回の補正を行い、七億二千八百六十六万円を追加した結果、十二月末現在の平成十二年一般会計予算規模は百三十三億一千三百六十六万円となり、これに平成十一年度からの繰越明許費を加えた総予算規模では、百三十三億五千五百四十二万円となっています。平成十二年十二月における歳入歳出の執行状況は、繰越明許費を加えた総予算額百三十三億五千五百四十二万円に対し、歳入では八十二億五千九百九十五万円(六一・八%)が収入済みで、歳出では八十五億七百六十三万円(六一・七%)が支出済みです。

昨年四月から十二月末現在までの、平成十二年一般会計予算の執行状況をお知らせします。